肱川

発行
肱川村役場
1958・12・20
編集
肱川村教育委員会

第一回肱川農業祭盛会裡に終る

十二月七日開催の第一回肱川農業祭は、農家の積極的参加と、各種後援団体の協力、恵まれた晴天によつて早朝から参観者が続き、有意義に終了した。なお当日の農産物その他の出品状況及入賞者は次の通りであつた。

o出品点数、

穀類　二五八点
果菜類　一四八点
写真　二五点
学童書画　一七七点

o主な入賞者（穀、果菜）

一等
山内　久綱（大豆）
高橋　正夫（とおきび）
山中　美茂（米）
富永　浦衛（とおきび）
楠野　清逸（豆）
河野　昌文（小豆）
和気　豐（人参）
三瀬　義盛（大根）
中宮　義夫（富有柿）
兵頭清四郎（みかん）

二等
大越　幹夫（大豆）
長田　実（〃）
堀川　広衛（小豆）
東　吉徳（小豆）
下石　保男（豆）
山下　君江（小豆）
高橋　光男（豆）
谷田　みき（とおきび）
寺尾　武由（人参）
竹森　公平（とおきび）
二宮　健一郎（白菜）
山中　美茂（大根）
山田　一（カブ）
万瀬寺　忠徳（ゴボー）
富永ミツル（みかん）
上野　督代楠（柿）
兵頭清四郎（みかん）
有友　勇（柿）
富永　寅幸（椎茸）

三等　三〇点略

なお当日第二会場では、午前中は体験発表、午后は郷土芸能として県下に有名な長浜町の豐年おどり、愛大教授菊地和夫氏の講演が多数の参観者を集めて進められたが、青年農民の勤労を通じて研究された体験は、参加者に多くの示唆を与える一方、肱川農業に明るい夢を提供した。又農民の中に自然に生まれた郷土芸能「豐年おどり」は、観衆を笑いの中にさそい乍ら、農民生活の哀歓をうたいあげて共感を呼んだ。更に講演は農村経済に科学のメスを入れて、新らしい村づくりの方向と農民の覚悟を諄々と説き多大の感銘を与え午后四時終了した。

本月の出来ごと

十一月

一一日　観光特別委員会を開く

一六日　郡内町村役場職員大会高砂グランド及中野小学校において開催　午后七時より久松知事来村　役場階上においてアメリカ視察講演並にスライドを開催

一七日　郡内町村議会議員大会を中野小学校において開催

二四日より　種痘開始

二五日　県体育課長並にボート連盟理事等ボートレース予定地の視察　鹿野川附近の飲料水井戸　殆んど断水のため対策折渉開始

二七月　教育委員会等　宇和川中学校視察

消防団分団長会を開く

十二月

一日　防火デー　消防団においては各分団毎に各種行事を行い防火宣伝に努めた

三日　中央敷水に疫痢患者発生　隔離に収容

四日　県耕地課係員　小団地開発事業指導のため来村

七日　肱川村第一回農業祭開催

九日　肱川発電所竣工式る挙行せらる

愛媛県知事の選挙ついて

明年一月二十九日任期満了による愛媛県知事の選挙は一月二十八日執行の予定であります。

この選挙には本年九月十五日現在で調製した基本選挙人名簿によつて行うこととなりますが、この名簿に登載もれ又はその后選挙資格が出来た方のために、補充名簿を調製することになります。この補充名簿の登載は本人の申告を要しますので御注意下さい。申告の期限、調製現在日等決定次第連絡致します。

南ブラジルに第二の肱川を造ろう

村ではさきに、海外移住希望者の第一回調査を実施したが、その結果三二世帯の希望が出た。村は更に啓蒙につとめ適正な農家の移住を進める計画であるが、県と密接な連絡をとり、現在愛媛村建設のために県が買収を進めつつある南伯に、出来る限り集団して移住が出来るようにしたいと考えておる。もちろん、家族の構成、移住者の条件のちがいで、全部一カ所にと言うことは不可能であるから、近く県の係官を招き希望者との懇談会を開き、本人の状況、希望等を詳しく調き、それぞれ好条件の移住地を決め、移住を積極的に進める考えである。

政府売渡米増強運動について

本年産米は、昨年に引続いて四年目の豊作だと見込まれ、本年産米の売り込み（予約制度実施後最高の五十万石と推計されておるが）差引いてもかなりの販売余力米がのころものと推定されております。

もしこれが、自由米として流れるとすると、食管制度は根抵からくずれ、農家経営に重大な影響を及ぼすものとの考えのもとに、今全県下にこの運動が展開されております。

みなさんが既に知つておられるように、米の統制ー食糧管理制度は今では消費者のためのものでなく、外国の安価な農産物から日本農業を保護する役目をもち、米価を中心とする、主要農産物の価格及流通統制によつて農産物価格が維持されておると見て差支えありません。

一度米が自由化すると、その影響は各方面に伸び、農業経営を一層おびやかすこととなります。米を中心とする食管制度を守ることは、たゞ米作農家米作地帯だけの問題ではない筈です。自分たちの生産物の価格変動の状況を見るとよく分ります。米は不足しておるから大丈夫と思うのは大きな間違いです。全農家の協力によつて、農家経済安定の柱であるこの制度を守りましょう。

村の人口移動

三三・一一・三〇日現在

出生者　部落　氏名
影地　久保　忠信
柳　東　誠志
橡の木瀬　玉井　猛
白石　東　真由美
上鹿の川　木村　文明
市之畦　保積　真理
大屋敷　向井　泉
教員　山本　あい
中津　二宮　令子
町　河野　清志

死亡者
下鹿の川　井上　典子
小藪　高野　キクノ
〃　奥野　福一
〃　久保　サカエ

世帯数　一・四八九
男　四・〇七六
女　三・七六七
総人口　七・八四三

一月一日よりメートル法完全実施

明るいお台所は　米　明るい米の入手から

* 政府も県も豊作の米を充分に集めて各家庭に米の満配ー少くとも月十五日分の配給をするよう努力しています。

* ヤミ米をなくしましょう

* ヤミ米をなくして余剰米を多く集め正しいルートで多く配給せんとする運動に是非是非協力して下さい

* 本年はヤミ米流しを強く取締ることとなつています

どうか充分御理解下さつて違反せぬよう御協力下さい

'58.12.20

昭和三十四年入学児についてお願い

新入学児について名簿の調製をしておりますから左の点御注意下さい。

o三十四年入学児は昭和二十七年四月二日から二十八年四月一日までに出生の児童

o住民登録によつて調査していますから住民登録をしていない人は、至急に届出をして下さい。

o本年から学校保健法により一月中に精密な身体検査と、知能テストを行わねばなりませんので名簿の調製を急ぎますから至急に届け出て下さい。

o盲聾児、肢体不自由児等については夫々特殊な進路を必要としますから、早目に相談して下さい。

o新入児につき御疑問の点は教育委員会へ御相談下さい。

自衛官募集

昭和三十三年度第四次陸上、海上、航空の自衛官を募集中であります。希望者は役場厚生係に相談の上応募して下さい。志願用紙は村役場にあります。

受付　十二月二十日　一月十四日まで

資格　十八才以上ー二十五才未満の中学卒業程度の労力のある男子

待遇　初任級　約六・二〇〇円　衣食住無料支給

（実質賃金　約一二・〇〇〇円）

歳末たすけあい運動についてお願い

肱川村社会福祉協議会長　宮武熊丸

我国の社会保障制度は、生活保護法、身体障害者福祉法、児童福祉法（之を福祉三法と言う）の実施により、一応確立したのであるが、法律には予算が伴い、予算には制限があり、その限界のすれすれで漏れた人又は一朝家庭に事故が起れば保護の対象になつて居る気の毒な人々には、どうしても法外の援護が必要で、之等の人々に対する国民全体の温い助けあいの運動が、共同募金で之も全部に行き渡るには程遠く、保護を受けて居る人でも、最低生活の保障に過ぎないのであります。

そこで年末に当り、歳末助けあいの運動を起し、皆様のお心のこもつた、義損金品を集めて先ず村内の気の毒な人々に大部分を配分し、又一部を県内に於ける社会施設又は個人で気の毒な人々に届け、みんなで明るい楽しいお正月をして頂くために、村内の皆様に同情袋を配り、お願いすることにいたしました。

以上簡単に申述べました趣旨に御賛同下さいまして、多少にかかわらず、真に温いお心のこもつた、金品の御寄贈をお願いいたします。

集まつた金品は関係の方々と御相談の上夫々配分し、皆様の温かい御同情を伝えることにいたします。何卒よろしくお願い申上げます。

成人式記念誌原稿募集

一月十五日は成人式です。今回は昭和十三年に出生の人々の成人を祝うことになります。

毎年記念誌「碧空」を発行していますが、本年も下記の通り原稿を募集します。

o　締切　一月五日（必ず守ること）

o　対象　成人該当者と一般の人とを問わず広く各有志の投稿をお願いします。

o　内容　感想文　随書　詩　短歌等作品

編集印刷の都合で五日に間に合わないとできませんので日数がありませんが是非御投稿下さい。

農事メモ

o果樹園の落葉の処理

柿や栗など落葉果樹の成木園では、反当り一〇〇〆以上も落バがあります。これはそのままにすると病害虫の巣となりますから、深さ一尺位の穴を掘つてうめます。すると大体病虫源は死にます。焼いても死にますが、有機質を灰にするより肥料にする方がよい。特に「なし」の黒星病、黒斑病、柿の落葉病、ブドオの黒痘病、ロキン病、ウドンコ病の多い園では葉の処理を充分にすることが大切です。

また、「あらかわ」ハギを暇を見てやりましょう。ブドオのカミキリムシ、スカシバ、柿のヘタムシ、カイガラムシ等はあら皮の下で冬を越すので、有効な防除法です。はいだ皮は焼きすてます。

o養畜

管理・防寒は大切ですが、換気不良にならないこと、例えば、ムシロ等夕方早くから朝おそく迄つらないように、日中暖い時は、日光浴と運動をさせること、又皮フの手入れも特に力を入れること。乳牛は、搾乳の時ぬれ布でふいたあと乾いた布でよくふきとること、ヒビワレができたらワセリンをぬること。

エサ・冬季はビタミンAおよびDが不足し勝ちで、不姙、骨軟症の原因となるので、ビタミンAは良質の乾草、サイレージをやる。なければ肝油などをやる。イネワラは乳ウシの場合一日三ー四キロにとどめることが望ましい。ビタミンDは、家畜を日光にあてることが第一である。

※納入告知書と納税について

一　税金納入の際必ず納入告知書又は納付書を税金に添えて納入すること

一　納入告知書又は納付書に若し錯誤又は間違いがある場合は受取つてより一月以内に連絡すること（特に一部負担金）

あとがき

o村報も回を重ねるうち本年も暮れようとしている。師走の声を聞くとあわたゞしさの中にも過ぎた一年間のことが反省さゝれる。皇太子妃の決定、警職法、勤評、伊豆の台風等々大きな事件やニュースの中で、小さな人間の営みが少しでも良くなつてゆくよう努力した一年をふり返つてみたい。

o来年は早々に知事選挙、つゞいて参議員選挙と大切な選挙の年にもなる。政治が一人一人の生活につながることを思つて、正しく、正しい人を選びたい。

o鹿の川では子供達が毎夜、夜廻りをして警戒を呼びかけている。消防団も年末警戒をはじめた。年末に限つたことではないが、戸締り、火の元など特に厳重な御用心をお願いする。特に心の戸締り、心の火の元に御用心を。

o当村でもダムが来年は完成する筈で、何となく落着かない数年であつたが完成を一転機として増々忙がしく、多雑な事業の遂行に一そうの努力を決意している。一九五八年の御協力に感謝すると共に、一九五九年の村の伸展の為格段の御協力をお願いする。

県森連木材市売場相場

一才当り　肱川村土場価格次の通り（12月5日市）

長サ	末口	スギ	ヒノキ	マツ	備考
13尺2寸	15下	34円76銭	円　銭	円　銭	
〃	25下	32〃82〃	36〃06〃		
〃	30上	36〃06〃	37〃00〃		
〃	40上	29〃58〃	35〃40〃		
〃	60上	29〃96〃	38〃64〃	25〃69〃	マツは14尺
〃	100上	34〃11〃		26〃98〃	〃
10尺	25下	26〃98〃	27〃65〃		
〃	30上	28〃92〃	32〃16〃		
〃	40上	29〃96〃	34〃76〃	21〃15	
6尺6寸ー7尺	25下	12〃70〃	14〃60〃		マツ10上ー15下 7円50銭
〃	30上	14〃12〃	16〃60〃	35下ー20上 17円50銭	パルプ材
〃	60上	20〃50銭	33〃40〃	40上 21円	
〃	80上		39〃93〃		
3尺	30上	7〃50〃	8〃85〃		
20尺	50上	34〃11〃	39〃93〃	29〃92〃	（中央経材積）

肱川青年

1958
S. 33.12. 7.
発行 肱川村青年団

開催迫る！

郡連青 女子活動者研究集会

喜多郡連合青年団では兼ねてより計画していた郡内女子活動研究集会が各単位団の女子責任者によって数度の話し合いによりこの程その要項案を作成、郡連青運営委員会の決定を待って実施する運びとなり、各単位団の活動者の出席を希望している。その要項案左の通りである。

一、ねらい

平和と民主々義と女性の権利を守り生活と地位を高める活動を発展させる　ための活動家を養成する

二、方針

明治、大正の時代からやられてきた女性の権利と地位を高める為の運動について学習し、現在女性にふりかゝっている問題や圧迫の正体を明らかにし、これからの活動の方向を明確にする。

三、講演

婦人運動の歴史
愛大教授　篠崎勝先生

明治、大正から昭和にかけて、その時代の女性がどんなに生きて来たか、その背景となる政治や権力社会の情勢はどうだったのか、そしてそれがどの様に私達につながっているのかについて話してもらう。

四、分散会と助言者

分散会テーマ

女性の地位を高め、明るい生活をきずくために。

女子活動の現状報告と問題提起（女子役員）を行い女性の幸せと地位を高めるために今後どの様に活動を進めたらよいか、地域で活動を阻んでいるのはどんな事か等について話し合う。

助言者　略

五、対象　各単位団女子活動家
単位団三名以上

六、主催　喜多郡連合青年団

七、日時　昭和33年12月13.14日（土・日）

八、会場　大洲市竜護山

九、参加費　二〇〇円

十、持参品　米六合

十一、日程　（略）

第四回 代議員会開かる

農業祭実施要項決まらず

農繁期も大体終りこれより青年団の第三期の活動がくり広げられようとしている。本団では去る十一月二十五日、定時制高校に於いて第四回の代議員会を開催したが、農産物品評会については産業委員会並に執行部は黒星をあげ注目を引いた。

先ず各種報告の後、第一回肱川農業祭実施について議題とし産業活動特別委員長及団長より要項案について説明がなされ審議に入った。

提出された原案は主旨、出品物経費等の面で再検討する要ありとの多数の意見で産業委員会及執行部へ委任する事になる。特に主旨等については主旨としてつかみどころがなく研究してほしいとの要望であった。

続いて第二十四号議案中学校統合の問題について、団長より提案説明がなされたが具体的事例が十分に認識してなく、青年団として態度を決するまでになっていないので、事例の資料をつくり研究する事になった。

第二十五号議案、郡団女子研究集会の取り組みについて（別項参照）話し合われ協力多くの女子活動家が参加する様各分団で取り組む事に決定。

その他の項として、警職法一部改正に対する青年団の態度について討議がなされた。多数の代議員、十分に研究していないので研究すると云う当りさわりのない決定になったが一部代議員は警察法一部改正点が何をねらっているか私達は研究しはっきりした態度で望むべきだと積極的発言あり。

次いで第九回愛媛青年研究大会についての大会要項案の審議に入る。

県連青では過去の青年大会の反省の上に立って第九回の大会要項案を作成し、この大会を全愛媛の青年の力で成功させる為に討議を深め、青年の主体性を確立し、青年の自主性を一〇〇%発揮さす充分な討議を要望している。

この要項案が長文なため十分に討議を深める事が本日の場合出来ないので資料を印刷して団員に配布の上討議を深めて行くと云う事になった。基本的には郡連青活動者会議の決定を押し進めて行くと云う事に落ちつく。

その外、学習活動研究会に於ける反省や、女子研をもった取り組方について執行部に対する意見等が発言され又この事について十分な討議の後午后八時過ぎ閉会となった。

農協貯金で
明るいくらし
肱川村農業協同組合

農作物代金は
我等の
農協へ
三十、一、五、一　貯金
を実施
しましょう

主張

女子活動者研究集会に寄せて

今年になって愛媛で始めての母親大会が松山に於いて盛大に開かれ肱川村からも宇和川から二人の仲間を代表として送りました。そして幸せなる生活のために、原子戦争に反対し、民主々義と権利を守り女性の地位を高めるために原水爆禁止運動を初め多くの仕事に取り組んで来ていきます。

又去る十月岩谷の本願寺の静かな雰囲気の中で河辺青年団と合同でもって「女性の生活を高めるために」「女性のおかれている立場について」等のテーマのもとに各分団から女性の仲間が集りそれぞれの立場や要求について話し合いを深めました。そして幸せな結婚や明るい生活をかちとる為に、世の中の動きや社会のしくみについて学習し生活と権利を守るための行動を起してゆかねばならない事を確認して参りました。そして、そのためには、ばら〱ではなくより多くの人達と団結し、力を合せて行動しなければならない事も教えられました。

今私達の農家のくらしは日に日に暗さを増して来ています。四年連続の豊作とさわがれても農家の暮しは一向によくなっていない。よくなるどころか現金収入の道は漸次せばまれて来ています。今年のマユ代は多くの養蚕農家を不安のどん底に落したし、又牛乳の減価の問題で酪農家を失望さし木炭は下り炭焼さんの表情を悪くしました。又一方では戦争への準備が進められ勤評が実施され警職法が改悪されようとし、家族制度が復活されようとしたり戦後十三年にして憲法が改悪されようとしています。この様な動きを私達は他人事の様にじっとして居る事は許されません。この様な社会の動きの中で郡連青の女子活動者研究集会が開催されるという事は真に意義深きものがあります。

この集会に先立ち、肱川での女子研の反省をすると共に更に分団や部落で、或は家庭や職場の中の問題を持ちより、そして話し合い、私達の活動を阻害する原因や正体を明らかにし明日からの活動を一層力強く踏み出される事を切望するものです。

女性の皆さん、お互いの生活と権利を守る為に頑張りましょう。

握　午

農業祭開かる

要項案を提出

第二回代議員会に於いて生産活動を如何にして進展さすかと云う事で産業活動委員会が設置されて以来数回の会合話し合いの結果左記要項案を作成し第四回代議員会に提出し決定する予定である。

その要項案左の通りである。

（前文略す）

一、主旨

（前の方の文章略す）

……各地域の経営状態や村民相互の交流を計る中で友好と見識を深め、これが経営の刷新向上を図り肱川村新農村建設の興隆に寄与する事を目的とする。

二、期日

昭和三十三年十二月七日（日）

三、会場

肱川村役場（第一会場）
定時高校肱川分校（第二会場）

四、主催

肱川村役場
肱川村青年団
川上地区改良普及事務所

五、後援

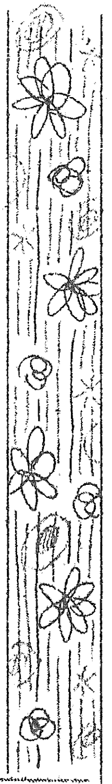
肱川村農協・森林組合・共済組合・改良普及事務所・木炭生産組合・婦人会・鹿野川商工会・農業委員会・農協青年部・青年建設班協議会・園芸同志会・蚕業中堅青年同志会

第一会場　肱川村役場
体験発表、豊年踊り、講演等

第二会場　肱川分校
農作物の展示、農村電化展、肱川小中学校生徒作品展示、一般写真展、農薬肥料展、農機具展、木炭展示、各種統計

展示

八三〇～九〇〇	展示開始
九〇〇～一二〇〇	体験発表
一二〇〇～一二三〇	昼食
一二三〇～一〇〇	豊年踊り
一〇〇～三三〇	講演
三三〇～	表彰式



農協運動と総ぐるみ運動について

肱川村農業協同組合長
谷本義光

旱害を心配していきましたが、秋風が濃くなるにつれ四年連続の豊年と云う様相を示し度々の台風も逃がれて真に喜ばしいことであります。併しながら段々深刻になる経済情勢は農村にひどく、農家経済はむつかしい段階に追い込められて行く様に思います。

全国的に見ると農家の人口は全人口の四二%を占め、農家の収入は全国民所得の一八%と云うのだからそれだけで貧乏と云うことは、はっきりして居るがその内でも先づ果樹園地帯の農家が最も良く、次は米作地帯で最も悪いのが本村の様な山間地帯の農家だろう。米麦作は飯米に過ぎず、現金収入源に乏しい上に主要物産の木炭も繭も栗も又煙草も安そうであり、益々疲弊困憊の一途を辿るようだ。

農政の貧困さもさる事ながらそれのみを怨んで見てもそればかりでは到底追っつけない。農民自らが対策を講じ、これを推進して難関克服が肝要であろう。先づ経済力の弱い農家としては毛利元就の故之の様に力を合すと云う事、即ち精神的にも経済的にも協同化することによって農業経営を合理化し生産の増強を図って生産物の共同販売に、生産資財や、生活資材の共同購入に農民意識の統一を図り相互扶助の精神を信条とする団結が必要でありましよう。云い替えれば農協運動の推進によって対処して行く事が急務と云う事になると思います。

目下農協では組合マークの愛用運動と予約購入を勧めて農家経済に計画性を持って貰う様にと役職員総ぐるみで運動中であります。必要なものは吾々農民組織の農協で作った製品を農民の皆さんに使って貰う様進めておるのであります。特に、地下足袋、マッチ、石鹸、酢の素、脱脂綿の様な最もお互いの生活に身近なものから逐次普及し、組合意識の昂揚を図って行こうと考えているのであります。吾々農協の役職員は嘗て計画した農協刷新拡充三ヶ年計画の実践に当り、総ぐるみ運動を展開して第一次運動の共済事業は優秀な実績を挙げ現在は第二次の組合マーク愛用と予約購買の運動推進に努力しております。第三次は貯蓄の増強に、更に第四次は出資の拡充に総ぐるみで運動を推進する覚悟であります。組合員各位の御理解、御協力は勿論でありますが次代を担う青年諸君が農協運動を理解し協力して貰う事が、やがて農村生活に光明をもたらすものである事と信じ敢て紙面を拝借し青年諸君の御協力を要請する次第であります。

（編集室注ーこの寄稿は九月末でしたので少しずれており現在は十二月三十一日までの期間は第三次の貯蓄総ぐるみ運動中に入っております。）

VYS活動について

最近の新聞紙上でVYSの活動がよく報道されております。郡連青の昨年度の青年大会の折りもこの事が論議され各地域で充分に研究する様決議がなされました。しかし大部分の青年はVYSとはどんなものであるかと云う事について十分な知識が得られていない様なので編集室ではその筋の人にVYSについて語ってもらった。

VYSとは「有志青年社会事業家」と云う事です。VYS運動は、この社会をもっと明るい住みよい所にする為に民間の青年達が若い情熱と意気をもって社会事業に参加しようと云う運動です。この運動は愛媛県で提唱され、青少年の中に育ちつゝある運動です。

VYS活動は「ヴォランテヤ活動」であり、ヴォランテヤ活動とは、本職以外の余暇時間を利用して社会福祉の為奉仕する事であります。これまでに日本では、ヴォランテヤ活動は成長しないと云われております。激しい生存競争と、貧しい経済状態の中にあって他人へ奉仕すると云うこと自体が困難だと云う考え方や又日本には宗教的（キリスト的）な愛の精神が社会生活の中に浸透していないので、無償の奉仕活動は伸びないのだと云う人もあります。しかし如何に貧しくとも、貧しければ貧しいほど、他の人々に暖い手をさしのべあう精神が大切であり、貧しい程さゝやかな愛の手が大きな意味をもって来るものであります。誰れの心の中にもある暖い善意を横につないで行く運動が「VYS運動」であります。

この様に日本ではむつかしいと云われるヴォランテ活動が、愛媛県の若い人の間にぐんぐん伸びてゆきつゝあるのです。

昭和二十七年七月、県下で第一回VYS講習会（前事務局長富永英雄君参加）が行なわれ「社会の幸福を皆んなの手で築きあげるよう働こう」と誓い合った青年達が中心となって、VYS運動は、その後各郡市にVYS研究会や連絡協議会が次々と結成されてゆきました。昭和三十一年四月には、愛媛県VYS連絡協議会が結成され、組織的な活動の基礎が確立されました。肱川村でも高校生を始め青年達の熱心な活動により昭和三十三年二月十八日肱川村VYS連絡協議会が結成され、会長に和気勝君を選び、VYSとしての誇りと希望をもって発足したわけです。現在さゝやかながら地域社会の福祉のため、又子供達のために奉仕の愛の活動を続けております。

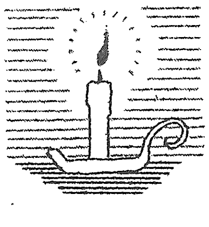
去る九月六・七日には、その第一回講習会を中野小学校で開催し約六〇名の参加を得、村外からも数名の参加を得て盛大の内に終りました。

この目的は、VYS運動の推進充実のため、VYSの研修と新しい会員を養成し、今後のVYS運動の進展を計ることを目的として行なわれたもので、みんな一つにとけ合った、なごやかな雰囲気の中で熱心に受講致しました。

初心者の方も多く参加して戴きましたが、この方々もきっとVYS運動に共鳴し、明るい社会建設のために働いて下さる事と心強く思っております。

VYSが象徴とする灯を一人でも多くの人の胸に輝かすことを願って止みません。

33.12.7



読書に関するアンケート

十月二十八日から一週間読書週間として各地で色んな催しが行なわれています。本紙編集室では左記の方々にアンケートを御願い致しました。

一、青年時代にどんな本を愛読されましたか。
二、読書の時間はどんな時でしたか。
三、何冊位い読んだと思われますか。
四、読書の方法はどんな方法が良いと思いますか。
五、若い人に推送したい書物。
/、本の名
2、著者名
3、発行者
4、その理由

竹材販売業　小川儀三郎

一、青年時代には余り読書していない。（青年時代の苦悩を解決してくれる本が得られなかった。石丸悟平著の幸福の哲学とか、西田天香著ざんげの生活等）
二、時間のゆるす範囲何時でも読む。一生勉強すると云う気構えで青年期の後半をやって来ました。
三、不明
四、読了後、その事を考へそのことについて書いて見る事が大切。
五、(1)白い壁　(2)石川達三
(4)現代に善を求めて生きる人の姿をかくあれと悟す。

保母　冨永道子

一、学生時代は夏目漱石全集を好んで読んでいましたがその後横光利一の旅愁、そして現在井上靖のものです、次第に読み安いものに流れています。
二、殆んど夜ですがたまに午後もあります。
三、自分で計算したことありませんから一寸答えられません。
四、出来るだけ広い目で物を見る事が出来る様あらゆる物を読む乱読とも云える法じゃないかと思います。
五、(1)人間の条件　(2)五味川純平
(4)人間の生き方の一つの道を痛感させられます。過去の世界を見つめ認識出来ると思います。

団体役員　香川亀久次郎

一、偉人伝記　修養全集
恋愛もの
二、夜
三、記憶にない
四、乱読よりも精読
五、(1)中江藤樹研究　(2)後藤三郎
(3)理想社　(4)道徳教育とは如何なるものかを知るため。

医師　綾井章江

一、徳冨蘆花、有島全集、漱石のもの、他は自分の専問書と参考書で一ぱいでした。内村鑑三ものや幸田露伴のものも少しは読みました。
二、多くは夜です。その他随時時間のある時。
三、長い人生を過したので冊数は不明相当沢山になる。
四、読書会等を通してお互いに交換し合うとよい。
五、安部能成さん、矢内原さんのものはよいと思う。

僧侶　松田諦竜

一、文学全集、思想関係書、宗教書
二、夜静かな時を選び夜更まで
四、無理をしないで自分の趣味に合ったものから入る。
五、哲学書、倫理書

中野小学校長　井上隆寿

一、（職業柄読まねばならないものは省きます）
私は良い読書家ではないので皆さんの御参考になる様な読書歴を持っていません。青年時には、自然主義文学作（日本物では昭和初期大正末期のもの、外国物では特にフランス文学）や探偵小説を乱読しました。教養物では阿部次郎の「人格主義」が一番印象に残っています。雑誌では学生時代から今日まで文芸春秋を読んでいます。
二、殆んど就寝前です。若い時には兴が来ると徹夜で読む事もありましたが現在では就寝前一〜二時間位です。
三、乱読屋なので冊数は殆ど見当がつきません。現在私の手許に残っている（青年時代に読んだ本で）のは二〇〇冊位のものでしょうか、その他は人にやったり売払ったりしました。
四、読書の仲間をつくって紹介し合うのがよいと思います。
五、(1)（最近読んだもの）反道徳の倫理　(2)村田廸雄　(3)三一書房　(4)教師向きの本ですが一般の方にも参考になります。最近道徳教育が問題になっていますが道徳というものゝ本質を別の角度から考えなおしてみるのによい本だと思います。

幸せの為に

渡辺弘教刀

幸せは皆々の願いで私達全人類にとって幸せを願わぬものは一人もいないが、その幸せと云う一言、私達人間一代の生活は皆幸せの道を求めて仂いているのです。考えて見れば人間ほど複雑なものはない。

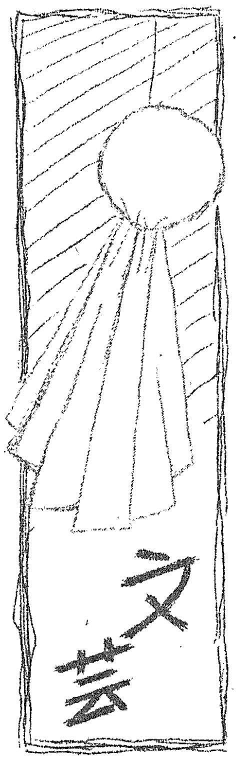
今日も又暑い太陽に焼付けられながら急傾斜の山地を全身汗を流して私は力一杯鍬をふるって開拓している。その手を休めて考えた。私が今開いているこの「山地」これこそ私の一代に豊かな幸せを築く事の出来る果樹園「栗畑」なのだ！今の私の家で経営しているものは山林十八町歩に果樹園二町歩主に「栗柿」他椎茸と田四反余と畑三反余に牛一頭山羊ニワトリで家族七人なのです。自分が現在の生活に打込んで来たのは大体六年前ぐらいからである。当時は脉高を病気のため中退してきまもないころその年は栗が不足なために〆当り約五百円近くにまではね上った。私も一、二本ある山の栗を拾って売ったものだ。その時から私はこの山村に一番適したものは果樹だしかも山間部に最適の栗を造りたいと考え父とも相談して今迄放ってあった土地を伐り開いて毎年々々栗を植えて来た、今年で六年目なのだ。その間色々と私の心にもヨロメク時もあった。一時は農業をやるほど馬鹿な事はないとも思う事も幾度かあった。しかし良く落付いて考えて見ると農業ほど確実で地味なものもない。唯現在の社会に於いては若い青年男女が都会の生活にあこがれて目先の事に捕われすぎてただ都会は良いとこの農村をふり返って見る事がないのではないのだろうか。ただ政府が悪いのだ又ムジュンだと政府攻撃ばかりやっておる、その政府はだれが出したのか？　やはりだれでもない私達なのだ。信頼があればこそ政治がやれるのだ。現在の資本主義「民主々義」の中では品物「生産」が沢山出来れば出来るほど価値は低下するのであって値段が低下すればするほど消費生活は増して行くのだ!!　品物生産が低下すれば我々の生活は出来ないではないかと良く云うが、これは生産物が低下すればそれに適応出来るだけの生産費の削減であり肥料の値下げとか共同防除によるとか共同出荷販売によって生産物の向上を行ひ値価よりも量で行くべきなのだろうか？　品物を高く売って一つの柿を食べさすよりも二つの柿を食べさす方がどれほど良いか分らないのであり人情として安ければ安いほど食欲は増すもので、食べたくない者は一人もいないのだ。皆食いたいが高いので手が出ないだけなのだ。安く造って沢山食わす事であり又お隣近所の中共には約六億の人々があり一人が一つの柿を食っても六億の柿が必要なのだ。一日も早く中共貿易も再開して行くべきだろう。

こんな事を書いておると、お前はよほどの大馬鹿助だと云う者もあり今の社会では何よりも先づやるべきことは「政治革命」をやらんといけないし、原水爆の禁止が第一だと良く県郡などで叫ぶが、私達も原水爆は絶対禁止すべきではあるが、いかに原水爆禁止になり政治が変っても自分達の農業生産は変らないのだと云う事である。なぜならば、農業生産ほど長い年月を要するものはないと云う事だ。

今から将来の土台を築いておき、社会生活は変れども生産は変らないだけの土台をつくろう。

山村の青年よ。
目覚めて立とう。
農村を捨てまい。
若い力で改善し発展させよう。
「仕事はとっても苦しいが流れる汗に未来をこめて　明るい社会を造る事」
皆んなでやろう。
夢と希望に燃えて……。私も又力一杯鍬を振り上げた。

33.12.7



「みち」をさぐる

丸山恵子

美しい未知の世界を求めて
唯一人今日も旅する
永い眠りからさめた今
私が大人と云う人間に
なったと
人々が教えてくれた
私は複雑な大人の世界が
大嫌い
正義のみの世界は
ないものかしら……
延々たる真白い雪の上を
唯一人歩む時
素的な希望がわいてきた
自分自身で未知の世界に入り
何かを征服するような
楽しい気持ちに……

岩谷分団発行 谷間の音 より

青年学級

大谷分団 ＡＢＣ子

台風が来るとラジオが云った
どうしよう……
今夜は普通と違って
役場から来校されるのだ
私は迷った
家の者は馬鹿だと云った
誰れも来るもんかとも云った
でも
私は気が済まなかった
台風に備えた支度をし
闇夜の道を急ぐ
講師は来ていた
私の来るのが遅かった
「遠い所から大変だったでし
よう、嵐が来ると云うのに」
と云って私を迎い入れてくれ
た
集りは案の定悪く八名だった
皆んな嵐を予想していたのだ
でも皆真剣に話し合った
ワァー冷い今から雨がもりは
じめた
急に大雨が降って来たのだ
負けるものか
へこたれるものか

本の頁を開く

上杉

本のどこかに……それがかく
れていないだろうか……
と思って
私は本の頁を開く
私がくらしの巷になくしてし
まったもの
そしてまだ気づかないでいる
もの
「こゝにあった」と
うなずきながら
ものうい眼を見開らくような
もの
私は本の頁を開く
読んでいるうちに……それが
見つかるかも知れないので

岩谷分団発行 谷間の音 より

みみずよ

大谷 橋本政之

みゝずよ
どおしてお前は日焼して
死ぬのだ
どうしてもっと考えて
はわないのだ
お前の日焼けして死ぬ姿を見
て俺は思い出す
千年近く前のオレ等の祖先の
事を……
みゝずと同じ百姓の
祖先をだ!
千年近くの百姓はな
やっぱりお前と同じに
日が照れば死に
水が出れば死んで行ったんだ
それも死にたくないために逃
げ、かくれして死んだんだ
お前と同じ様に　日が照れば
日焼けして死んだんだ
みゝずよ
その頃の百姓はな　奴隷と云
う名の百姓だったんだよ
そしてな　奴隷を使う奴は貴
族と云う奴なんだ
奴隷達が作った物は　皆んな
貴族のゼイ沢に使われたんだ
その為に百姓は死んで行くよ
り他なかったんだ
みゝずよ
だが今のオレ達はな
生きて行く道が解りかけて来
たんだ
その為に仂いているんだよ!
お前と同じ様に土を掘り
土を食って生きている
百姓なんだよ
その百姓に未来が開けて来る
時……
その時を俺らは造るんだよ…

大谷分団機関紙より

愛の灯を

なかがわ生

たそがれになると
川べりの家にも
山かげの草家にも
そして
どの家も
この家にも
灯がついてゆく……
――その灯の様に
愛の灯を
どの家にもみんな
みんなつけてゆき度い
日本全国――
津々浦々の家庭に
この愛の灯が
ともり
ひかり
かゞやいたら
どんなにこの地上は
明るく
そして
あたたかくなる
ことだろう
――それを夢見て
生きている
・
それが私の……
それが私の
いのちである

本団の動き

（十月以降）

10月5日 県連青スポーツ祭（沖田、冨永参加）
10月5日 肱川河辺女子研修会準備委員会開催
10月11～12日 川上地区女子研修会（岩谷本願寺）
10月18日 拡大執行委員会（役場）
10月25日 郡連青女子活動者会議（大洲）
10月31日 産業活動特別委員会（役場）
11月3日 拡大執行委員会（役場）
11月8日 郡連青女子活動者会議（大洲）
11月18日 郡連青活動者会議（大洲）

分団の動き

大谷分団

10月以来農繁期の為休校していた青年学級を11月21日から再開共同学習の基に新な気持で学級を運営する。

× × ×

財政確立の為木材運搬を三日間実施し六千余円を獲得した。しかし農繁期のことゝて、団員の刈出しに執行部一苦労した。

× × ×

11月の映画会、映写機故障の為途中にて中止、映画協力者に対し恐縮した。

× × ×

農協青年部と共催にて、土壌調査を実施した。

編集後記

農繁期ご苦労様でした。四年連続豊作だと云われていますが如何でしたか。豊作を喜び合えるどいゝのですが、「ふところ寒し秋の風」てな事の声を聞くとたまらない気持です。

○

全国民の期待と関心を集めた皇太子妃が決定し発表された日、ようやく本紙の編集を終りました。神武以来の型破りの妃決定だと云われています。澄み切った秋晴れの空の様に、国民の心の中も晴れて行くものを感じます。今後も人間皇太子であってほしいものですね。

○

九月発行予定の本紙編集の予定が狂ってしまいました。勤評、女子研の特集を編集し四頁建の予定で八円切手同封しての原稿依頼も随分気長く待ちましたがまだ集りません。でも、まだ待ち続けます、次号があるから……本紙も一人や二人の狭い主観でなく、もっと組織的に団員の中から創り出される様努力したいと思います。力を合せて下さい。

○

組織外からの御寄稿をかたじけのお感謝致します。今后共よろしく。

○

農業祭が近づきました。皆んなの手で成功さしましょう。よりよき村づくりと豊かな生活を築くために……

○

勤評、警職法、女子研、青年大会と問題が山積しています。これからの活動を期待いたします。

印・大洲プリント社 T.766番